学校番号	１０１３

令和２年度　芸術科〔美術〕

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・人は思いや見方、感じ方がそれぞれ違います。「何をどのように表現したかったのか？」「作品や映像を観ることでどのように感じ考えたか？」そういう部分を大切にしてください。
・視覚、触覚、感じ取ったことから思考する「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」「鑑賞」の分野について学習します。
・生徒同士が作品を相互に鑑賞（批評）することで、様々な違った視点や考え方を確認することができまたそれらを共有することで理解がより深まったりします。

２　学習の到達目標

美術Ⅰでは美術表現の成り立ちを理解し、課題を理解し創造していくなかで、美術の楽しさ、表現の面白さを、知識や技法を学び使いながら制作してゆく。
現代社会の中での様々な美術文化（表現）に対する理解と関心を引き出してゆく。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	①現代社会、日々の生活の延長として美術を捉える。 ②その中から創造活動を行い、製作過程で達成感や喜びを味わうことでより美術としての文化、鑑賞の関心に繋がる。	①独創性、想像力を働かせ、感じ思考することの必要性。作業のみに留まらず、作業と思考を合わせる事で、「表現」を行う。 ②主題を基に、素材や表現の特性や造形性を考えて構想している。	①彫刻刀の技法を理解している。 ②制作に必要な技術、知識を身につけ、教材に応じて表現方法を拡げる工夫をしている。 ③作品完成における達成感	①他の生徒の作品についての意見や感想を知る事で理解の幅を持たせる。 ②映像表現や美術作品、またはそれらの作家性や時代背景、文化を感じることで理解する。
評価方法	制作の様子、取り組み方。 鑑賞における、意見や感想。 発言内容	アイデァスケッチ（エスキース） 制作過程の作品 制作時の発言内容 ワークシート	作品制作過程での技術、技能 完成、展示された作品	ワークシート 感想、発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	表現と選択	【鑑賞】【デザイン】【絵画、彫刻】 ・オリエンテーション 教科書を基に、表現について	◎	○	○		a:美術の様々な表現を知る。 b:美術の歴史と文化について自分との関連性を考える。 C:発想力の簡単な作品制作	学習活動の様子
		表現における、題材などを使用する場合の取り扱いについて、知的財産権や著作権の理解	◎			○	a:使用される用材への配慮 d:様々な話題になった作品を観ながら、理解と配慮を深める。	
	鑑賞と表現Ⅰ	【鑑賞】【映像メディア表現】【デザイン】【写真】 ・言葉を自己の表情で表す、自己表現理解。 ・その表情をした写真を撮り、それを基に色面分割を行う。	◎	○	○	○	a:自己の特徴理解を深め、表現に活かす。 b:言葉から連想される表情を研究する。 c:観察に伴う表現の構図と技法 d:他者理解	研究の様子 製作の様子
	表現Ⅱ	【絵画】【デザイン】 ・平面展開した自画像制作 ・色彩とレタリングによる表現	○	○	◎	○	a:絵画の理解 b:偶然性からの発想 c:表現性の構図や技法 d:相互批評	制作の様子 制作課程 完成作品
2学期	素材Ⅰ	【木彫】 ・「見る」という事から、より実物らしさへの追求、写実(リアリティへの追求)	◎	○	◎	○	a:素材を知り、写実を求める。 b:様々な角度から観察 c:彫刻刀の使い方を理解する。 d:リアリティを追求制作する造形作家の映像を観て理解する。	制作の様子 制作課程 作品のリアリティ 完成作品
	版画	【絵画】【版画】 ・季節や行事を主題とした版画制作	○	◎	○		a:凹凸平孔の版画の原理を理解 b:単純化と応用 c:版画における彫刻刀の使い方、注意点	制作の様子 制作課程 完成作品
3学期	素材Ⅱ	【デザイン】 ・見て触れることで展開される素材表現	○	◎	○		a:日常にあふれるデザインと生活の関係性を意識し考える。 b:展開、発想の面白さ。 c:素材の特徴を理解した上で製作される魅力的な作品	制作の様子 制作課程 完成作品
	ペーパーシェード	【デザイン】【鑑賞】 ・インテリアデザインについて ・和モダンの感じるペーパーシェードの製作	○	◎		○	a:灯りのデザインが与える印象に関心を持ち、そこからの自己表現 b:日常生活の中で紙がどのようにデザインされているかを理解し想像する。 d:デザインにおける著作権についての説明	制作の様子 制作課程 作品の丁寧さ 完成作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想・思考・表現・構想の能力
　　c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。